

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147
TEL 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと 検索 ブログはこちら



11月の催しもの

●図書館で一緒に遊びましょ 10:30～

土曜日は図書館でスタッフと一緒に遊ぼう

- ♥ 11/12 いっとくんをぬってみよう♪
- ◆ 11/19 糸電話でもしも～し!
- ♣ 11/26 作ってみよう とび出すカード

●ボックリビー(マツボックリをビーズで飾ろう)

日時:11/5(土) 13:30～15:00

場所:図書館2階 企画研修室

参加費:500円

募集:15名(小学校低学年は親子参加)

要予約!

●音楽と読み聞かせの世界へようこそ

日時:11/6(日)

場所:図書館2階 企画研修室

●ダンボの会のおはなし会

日時:11/27(日) 10:30～11:30

場所:おはなしコーナー

ツイッターでも
情報配信中!



市貝町立図書館『いっとくん』

@ittokun_ichikai



「いざ、読書。」

全国秋の読書週間 10/27～11/9



～館長コレクションから～

「未公開! 御朱印と世界のコイン」展



旅のお供に「御朱印帳」!
世界のコインに記念コインの数々…
穴の空いたコインは日本の5円玉だけかと思っ
てました…他にもあるよ!
ぜひ、見に来てね～!!



図書館カレンダー

年末年始休館日 12/29-1/3

11月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

(■ …休館日)



収穫祭大盛況

10月1日(土)いっとファームくらの収穫祭が盛大に行われました。裏の畑で育てたじゃがいもやおもちゃカボチャの観察記録を見て頂き、参加者全員で観察クイズに挑戦！屋外活動の為大きな声を出しても平気。楽しいひと時を過ごすことができました。

●おばけカボチャの重さあてクイズにチャレンジ！

お菓子の賞品も盛沢山でしたね！

●蒸かしたてのじゃがいもにバターを付けていただきました。おいしかった！



●館長さんと一緒にジャンケン&ゲーム大会



●スタッフによる収穫祭に関する絵本の読み聞かせ等

スタッフのおすすめ本



科学のお話『超』能力を持つ生き物たち

1～4巻

石田秀輝 // 監修
学研教育出版

今日まで生き残っている生物は、すごいくみを持っている！ それらを研究して生み出した、人間に役立つ道具や技術が、子供にも分かりやすく紹介されています。もちろん大人も読む価値あり!!



◎蔵書点検を実施しました◎

10月4日(火)～7日(金)は、図書館内の書籍や視聴覚類など全ての資料を点検し、4日間休館させていただきました。利用者の皆さまには御協力いただき感謝致します。

蔵書点検では、資料が市貝図書館の蔵書としてきちんと登録されているか、資料は正しい場所に配架されているか、不明な資料はないか、などを確認しながら本の整理を行ないます。



このようにハンディターミナルで1冊ずつ全ての資料を読み込んでいきます。



その結果、25点の不明資料が判明しました。返却されることを願いながら、現在捜索中です。

館長のひとりごと



9月の日曜日に、田野辺自治会の敬老会に招かれて長生きの話や古典落語を聞かせ、お年寄りの方に喜んでいただきました。「敬老の日」は多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うことを趣旨として国民の祝日になっています。初期は、兵庫県多賀郡野間谷村の村長であった門脇政夫さんと、助役であった頃安清市さんが、昭和22年に提唱した「としよりの日」が始まりと聞いています。野間谷村では「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と、9月15日をとしよりの日と定め、従来から敬老会を開いていたそうです。現在は、多可町八千代区となっていますが、小中学生が地域の年長者に向けて、日々の感謝と敬意を表して手紙を書くという慣習を導入し、夏休みの宿題として読書感想文と並んで今でも行われていると聞いています。いい話ですね。年老いてただ長生きすればよいというものではない。元気だけということでもない。生きがいをもって、自分に責任の持てる生活を送ってほしいと願っています。地域のコミュニケーションの崩壊、少子高齢化が進む社会の中で、このような地域活動を、私は町民の一人として、健康が続く限り精一杯応援していきたいと思っています。